

地域人材ネット

日本農業賞大賞受賞、天皇杯受賞

棚谷 保男

(たなや やすお)



○ 登録者情報

所在地

茨城県行方市

略歴

平成25年4月JAなめがた代表理事専務
平成28年4月JAなめがた代表理事組合長
平成31年4月JAなめがたしおさい代表理事組合長
平成28年6月全農茨城県本部運営委員会副会長
平成28年6月茨城県厚生連経営管理委員会副会長
平成30年4月茨城県農業政策アドバイザー
平成29年3月日本農業賞大賞(組合内生産部会)
平成29年11月農林水産祭天皇杯受賞
平成31年3月総務省地方創生に資する取組事例表彰

○ 日本農業賞大賞受賞、天皇杯受賞

取組の内容

- ・昭和51年、旧農協時代に食用カンショ生産組織として甘藷部会が設立される。
- ・平成元年にカンショ販売額約6億円に達し順調に売り上げが伸びたが、平成10年頃から消費低迷と販売価格の下落により農家経営が圧迫されるようになる。この状況を打破するため、「スーパー店舗内焼き芋販売戦略」を打ち出し、消費拡大の起爆剤となる。
- ・平成17年に茨城県農業研究所、行方地域農業改良普及センターと連携し「茨城県かんしょ技術体系化チーム」を結成し、一年を通じ美味しい焼き芋の安定良味出荷産地育成を実行した。
- ・平成15年より白はと食品工業株式会社と連携し、加工カンショの商品化・地域農業の活性化への取り組みを進め、平成24年には東京スカイツリー内「東京ソラマチ」屋上に芋畑を相互協力で開園した。
- ・平成27年に甘藷部会、JA、白はと食品、行方市が連携して、市内の小学校跡地を活用した農業テーマパーク「なめがたファーマーズヴィレッジ」を開業となった。
- ・昨年2JAが合併し、JAなめがたしおさいとしてスタートして、年間の販売高が200億円を超える茨城県内1位の販売高を持つJAとなった。

実績

昭和51年甘藷部会発足	生産者数	35名	販売額	3百万円
平成10年甘藷部会	〃	175名	〃	11億円
平成20年甘藷部会	〃	290名	〃	18億円
平成30年甘藷部会	〃	262名	〃	36億円

工夫した点や苦勞した点

工夫・・・甘藷部会とJA、茨城県関係機関が連携し、役割を明確にして同じ目線で活動することを一貫して進めてきた。

苦勞・・・生産者農家との連携で、様々な事業展開への理解・協力を得る為、再三にわたり生産者との会議・講習会を重ねてきた。

ひとことPR

昨年2月に2JAが合併し、全事業取扱高もほぼ倍増し、農畜産物販売高200億円を有するJAとなりました。甘藷のみならず生産量全国一のピーマンをはじめ、多種多様な農産物生産力を誇る地域で核となり、なくてはならない協同組合としてその運営に邁進します。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
	3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	10	環境保全
	5	定住促進	11	その他
	6	観光振興・交流		

関連ホームページ

JAなめがたしおさい	https://ja-ns.or.jp/